



(1) YNU新湘南共創キャンパス

神奈川県、藤沢市、鎌倉市、湘南ヘルスイノベーションパーク、湘南鎌倉総合病院を中心とした「ヘルスイノベーション最先端拠点形成構想」に参画し、新フィールドでの健康長寿社会の実現に向けた教育研究拠点として「YNU新湘南共創キャンパス」を新設。新キャンパスでは、人びとの生活と医療・ヘルスケアに関わる研究活動と共に、地域に根差した教育を行う。

(2) 2つの高等研究院

○先端科学高等研究院「IAS」  
量子情報研究センター、先進化学エネルギー研究センターと情報・物理セキュリティ研究ユニット、バイオアッセイ研究ユニット、電気エネルギー変換研究ユニット、超省電力マグノニックデバイス研究ユニットを形成し、卓越性の強化を図り、研究力の一層の向上を目指す。

○総合学術高等研究院「IMS」  
リスク共生社会創造センター、台風科学技術研究センター、豊穰な社会研究センター、次世代ヘルステクノロジー研究センター、半導体・量子集積エレクトロニクス研究センターと生物圏研究ユニット、革新と共創のための人工知能研究ユニット、共創革新ダイナミクス研究ユニットを形成し、多様性の強化を図り、社会貢献や社会共創を強く意識した研究を進める。

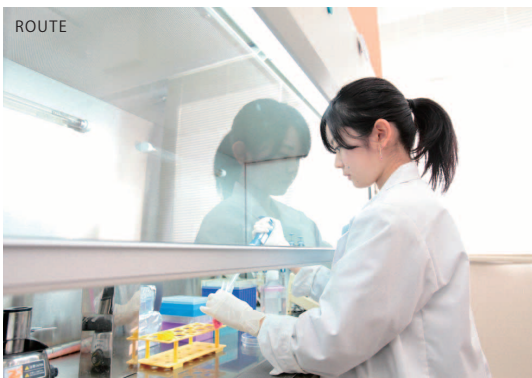
(3) 大学院先進実践学環

国際社会科学府、都市イノベーション学府、環境情報学府、理工学府の4つの大学院の約180名の教員が500を超える授業を提供し、先進的な文理融合の教育研究を実践する大学院修士課程の学位プログラム。「知識の統合」を実施することで、Society5.0における新たな価値とサービスの創出・普及の場面で実践的に活躍できる人材を養成している。

(4) ユネスコチェア

知の交流と共有を通じて高等教育研究機関の能力向上を目的とするプログラムで、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）によって選定される。横浜国立大学のプログラムは、ユネスコの「人間と生物圏計画（Man and the Biosphere = MAB）」の一環として、国内外でSDGsに即して活躍できる優秀な人材を育てるプログラムとなっている。

ワンダリ（境界）があります。これをスパンニング（統合）することが重要で、知の統合とはワンダリ・スパンナードと言ったことができます。これこそ本学の進む道です」と語ります。



環境系の教員を中心に社会系や人文系の教員とともに自治体と協力しながら生物圏の持続可能な発展の実現を目指す「生物圏研究ユニット」など、各ユニットが分野横断による多様性を活かし現代特有の問題・社会課題の解決に取り組んでいます。梅原学長は「こうした研究での取り組みが教育にも還元されると考えています」と話します。

**専門性を担保した教育で文理融合の学びを展開**

環境系の教員を中心に社会系や人文系の教員とともに自治体と協力しながら生物圏の持続可能な発展の実現を目指す「生物圏研究ユニット」など、各ユニットが分野横断による多様性を活かし現代特有の問題・社会課題の解決に取り組んでいます。梅原学長は「こうした研究での取り組みが教育にも還元されると考えています」と話します。

2022年度には、「大学の世界展開力強化事業」に「レジリエントな社会への変革をリードする産官学連携ヨコハマ国際教育プログラム」の横浜の地域力を活用した実践グローバル教育による目印豪ブリッジング人材の育成が採択されました。インド・オーストラリアとの国際共修を行う「YOKOHAMA I-SX IP副専攻プログラム」を構築し、持続可能な未来社会を創造するSX人材育成に取り組んでいます。

「よい風が吹く、キャンパスで地球規模の課題に挑戦」

大学院からスタートすると言えるでしょう（梅原学長）

「よい風が吹く、キャンパスで地球規模の課題に挑戦」



うめはらしげる  
梅原 出学長  
1987年富山大学理学部卒業。92年筑波大学大学院工学研究科物質工学専攻博士課程修了。専門は固体物性物理学・超伝導、磁性。横浜国立大学教授、副学長を経て2021年より現職。

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1 総務企画部リレーション推進課 TEL 045-339-3027 https://www.ynu.ac.jp/

# 横浜国立大学

## 創基150周年、「知の統合型大学」 グローバルに活躍する人材を育成し 「世界水準の研究大学」を目指す

横浜高等工業学校、横浜高等商業学校、横浜師範学校をルーツに持つ横浜国立大学は2024年、創基150周年、開学75周年を迎えました。「実践性・先進性・開放性・国際性・多様性」の5つの基本理念のもと、「新たな社会・経済システムの提案」「イノベーションの創出・科学技術の発展」に寄与する「知の統合型大学」として世界水準の研究大学を目指し、さまざまな大学改革を推進しています。人文系、社会系、理工系など幅広い分野が国際都市・横浜のワンキャンパスに集い、専門性を重視した文理融合の教育を展開。神奈川県唯一の国立総合大学として、国際的に活躍し、社会に貢献する人材を育成しています。

多様性を新たな基本理念に加え、大学改革を推進

このコンセプトのもと、2023年11月に「YNU新湘南共創キャンパス」を設置しました。JR村岡新駅（仮称）の開設を見据えて、健康長寿を目指した新しいまちづくりが始まる藤沢市村岡地区、鎌倉市深沢地区をフィールドに、ヘルステクノロジーの実践的な教育研究を展開していきます。

多彩な研究拠点を擁し、先端的研究を実現

梅原出学長は「多様性を重視していくことが、大学の今後の一つのプリシブルになっていきます。大学改革においても多様性を重要視しており、経営戦略についても外部や女性の意見をしっかりと聞いて大学の経営に反映させていきたいと考えています。まさに多様性の重視は大学の改革の柱でもあります。本学は『知の統合型大学』を目指していますが、多様であるからこそ知の統合が成り立つのです。社会にはさまざまなバ

ワンダリ（境界）があります。これをスパンニング（統合）することが重要で、知の統合とはワンダリ・スパンナードと言ったことができます。これこそ本学の進む道です」と語ります。

近年、SDGsに象徴されるように地球規模の環境問題が重要な研究テーマになっていますが、横浜国立大学では他大学に先駆け、環境と情報学を軸にした「大学院環境情報研究院・学府」を2001年に立ち上げたのをはじめ、幅広い地球温暖化に関する研究や、脱炭素社会を実現するためのグリーン水素研究を先進的に実践してきました。一方、横浜国立大学の強みである工学系のテクノロジを活かした医工連携にも注力するなど、多様な研究が進められています。